

実学資料研究会

第 2 1 回研究大会・総会報告

開催日時： 2002 年 1 月 13 日（日）～14 日（月）

会場： 古河歴史博物館 2 階研修室（茨城県古河市中央町 3-10-56）

プログラム

発表者・解説者の敬称略

1 月 13 日（日）

13:00 開場

13:30 開会の辞 松田清（大会・総会進行役、研究会代表）

第一部 展示観覧と特別観覧会

13:30～13:40 鷲尾政市館長挨拶

13:40～14:35 永用俊彦学芸員の説明による企画展・常設展観覧

14:35～15:40 特別観覧会

・「伝河口順所用薬箱」と「河口良庵の単語帳」

解説：ヴォルフガング・ミヒエル、川島恂二

・「松浦静山旧蔵『阿蘭陀海鏡書』原書」（スライド使用）

解説：松田清

・「プリンセン地理書」と杉田玄端訳「地学正宗」「和蘭切図」74 枚

解説：石山洋

・「魯西亜国地図」3 枚

解説：吉田厚子

第二部 研究報告その 1

報告 30 分、質疑応答 5 分

15:45～16:20 澤田平 「江戸時代地震予知機の発見と復元」

発見品本体 1 機と復元品 2 種 2 機を展示運転、傍証資料も展示

16:20～16:55 鹿毛敏夫 「分銅と計屋――中世末期九州の量衡制――」

17:45～ 懇親会 懐石遊膳 福光

1 月 14 日（月）

9:00 開場

第三部 研究報告その 2

報告 30 分、質疑応答 5 分

9:10～9:45 丸山幸太郎 「美濃・北方村牧村治七の実学」

9:45～10:20 岩下哲典

「アヘン戦争情報の衝撃は本当か―鷹見泉石収集の海外情報資料からの検証―」

10:20～10:55 東 徹 「再現実験を通して見た佐久間象山のガラス作り」

10:55～11:30 石山洋「鷹見泉石所蔵『和蘭切図』の正体― セッパ『旅行用懐中地図帳』 ―」

11:30～12:00 総会

12:00 閉会の辞 石山洋（第 21 回大会・総会実行係代表）

12:30～ 地元ボランティアの案内による現地見学会（希望者のみ参加）

見学場所：鷹見泉石記念館、河口信任生家跡、正定寺（土井家菩提寺）など

今大会の出席者総数 37 名（実学資料研究会会員 21 名、洋学史学会会員・その他 16 名）